

全国高校選抜大会は24日、自転車やボートなどが各地で行われ、愛媛勢は自転車男子個人ロードレースで北宅柘麻（松山城南）が優勝した。2位に武智光（松山東）、4位に渡辺諒馬（松山城南）が入った。松山城南は総合優勝を果たした。

全国高校選抜

自転車男子

ロード北宅

（松山）
（城南）
V

松山城南が総合優勝



男子学校対抗で1位に輝いた松山城南のメンバー。左から3人目がロードで優勝した北宅柘麻、左から2人目が4位の渡辺諒馬。24日、熊本県五木村

ボートは男子かじ付き4人スカルで今治南が4位、新田が7位入賞。女子ダブルスカルは今治南が3位、今治西が7位、女子かじ付き4人スカルで今治北が4位と今治勢の活躍が光った。

県武道館であったフェンシングは、女子エペ1回戦で三島が新潟と対戦。最終セットで大西が3点差から追い付き、延長に持ち込むも44-45で敗れた。愛媛勢の成績は次の通り。



武智 光

うれしさと悔しさ
松山東・武智選手
（ロード2位の好成績）
「全国大会で初めて入賞したうれしさと、よく知る相手に負けた悔しさがある。序盤から前に付けられたことが結果につながった。インターハイに向け全体的な底上げが必要だ」

- …自転車…
- （熊本県五木村特設コース）
- ▽男子個人ロードレース（78.6分）
- 1位 北宅柘麻（松山城南）
- 2位 武智光（松山東）
- 3位 渡辺諒馬（松山城南）
- 4位 渡辺諒馬（松山城南）
- 5位 大平翔子（松山城南）
- 6位 大平翔子（松山城南）
- 7位 大平翔子（松山城南）
- 8位 大平翔子（松山城南）
- 9位 大平翔子（松山城南）
- 10位 大平翔子（松山城南）

得点差返したチーム力

インターハイの男子学校対抗で2連覇中の松山城南。追われる立場で臨んだ全国選抜大会ではトラック競技終了時点で10点以上あったポイント差をロードでひっくり返し、日本一の座を守った。

「後で渡辺（諒馬）がコメントロールしてくれなければ、逃げ切れなかった。ロードを制した北宅柘麻は喜びよりも先に、4着でゴールした仲間への感謝を口にしていた。持久力に優れる北宅が仕掛ける中、後方集団では闘争力の

ある渡辺が他校の選手をけん制。まんまと北宅を逃がす展開を演出した。

北宅の逃げに応じた武智光（松山東）との一騎打ちになった終盤、残り半周ほどで北宅がラストスパート。一度は意地を見せた武智に追いつかれたが、最後は自慢のスタミナで逃げ切った。

渡辺は「柘麻が優勝してくれて頑張ったか良かった。チームが優勝できたことが良かった」と喜んだ。

総合2位校との差はわずか

1点。鮫島監督は「全員の力で勝ったことはこれまでの優勝よりも価値がある。外部コーチや学校のバックアップがあつてこそ結果だ」と感激した様子だった。

チーム力の重要性を再確認した北宅は「自分の練習もだが、新1年生を育てていかな」と語った。悲願のインターハイ3連覇に向け、その目はすでに夏を見据えている。

（高橋圭太）